

第32回電波功績賞の表彰を実施

2021年6月30日（水）、第32回電波功績賞の表彰を実施しました。

第32回電波功績賞の受賞者の方々及びその功績は、別紙のとおりです。

なお、例年、表彰日において電波功績賞表彰式及び祝賀会を実施しておりますが、新型コロナウイルス感染症の現状を踏まえ、昨年引き続き、これらを実施しないことといたしました。

第32回電波功績賞受賞者

(2021年度)

総務大臣表彰 (2件)

「オープンRANによる5G周波数帯キャリアアグリゲーション技術の実用化」

株式会社NTTドコモ

代表 安部田 貞行 殿 (株式会社NTTドコモ 無線アクセス開発部 部長)

5Gにおける更なる高速・大容量化を図るため、3.7GHz帯と4.5GHz帯の周波数を束ねるキャリアアグリゲーション技術(Sub6-CA)を世界で初めて実現し、O-RANインタフェース仕様を用いて異なるベンダーの5G基地局装置を相互接続したオープンRAN構成にて2020年12月より受信時最大4.2Gbpsの高速データ通信を実用化するなど、電波の有効利用に大きく貢献した。

「トラック隊列走行用5G高信頼・低遅延車車間通信システムの開発と実証」

ソフトバンク株式会社

代表 三上 学 殿 (ソフトバンク株式会社 テクノロジーユニット 先端技術開発本部
先端コネクテッド推進部 先端コネクテッド開発課 課長)

Wireless City Planning 株式会社

代表 吉野 仁 殿 (Wireless City Planning 株式会社 先端技術開発本部
先端技術戦略部 担当部長)

後続車自動運転トラック隊列走行の早期実用化・高度化に向けて、国際標準化に先駆けて世界で初めて5G高信頼・低遅延車車間通信システムを開発し、本システムを実際のトラック隊列走行実験システムの車両制御系と結合させて、5G通信を用いた後続車自動運転トラック隊列走行の実証試験を成功させるとともに、ITU-Rでのレポート作成に貢献するなど、電波の有効利用に大きく貢献した。

一般社団法人電波産業会会長表彰（5件）

「5GHz 帯導波管通信方式による建設現場用無線 LAN の実用化」

石野 祥太郎 殿（古野電気株式会社 技術研究所 主任）

八代 成美 殿（戸田建設株式会社 価値創造推進室 技術開発センター サブマネージャー）

高層ビルなどの建設現場において施工の ICT 化を推進することを目的として、汎用的な建材である足場パイプを 5GHz 帯の導波管として使用し、この導波管を垂直に階をまたいで設置し各階に導波管アンテナを設置する構成の、設置が容易で、安価かつ高性能な無線 LAN システムを開発し、商用化を達成するなど、電波の有効利用に大きく貢献した。

「デュアルバンド透明メタサーフェス反射板の開発」

松野 宏己 殿（株式会社 KDDI 総合研究所 電波・周波数グループ マネージャー）

道下 尚文 殿（防衛大学校 電気情報学群 電気電子工学科 教授）

小林 敏幸 殿（日本電業工作株式会社 キャリア事業部 開発部 次長）

5G の高速大容量な通信サービスの普及促進に向けて、基地局の電波を効率的にカバレッジホールに届けるエリア拡張技術として、景観を配慮した透明な構造で、28GHz および 39GHz 帯の電波をそれぞれ特定方向へ反射できるデュアルバンド透明メタサーフェス反射板の開発に世界で初めて成功し、実証実験により不感エリアの電波を 10dB 以上改善することを実証するなど、電波の有効利用に大きく貢献した。

「既存周波数の 5G 化の推進」

KDDI 株式会社 既存周波数 5G 化チーム

代表 向井 哲雄 殿（KDDI 株式会社 社長付上席補佐）

ソフトバンク株式会社 既存周波数 5G 化チーム

代表 浅倉 智一 殿（ソフトバンク株式会社 テクノロジーユニット

モバイルネットワーク本部 ネットワーク企画統括部 統括部長）

5G サービスエリアの速やかな全国展開を目的として、LTE サービスで使用中の既存周波数を 5G 化し新周波数基地局と組み合わせることで、迅速に 5G ネットワークを構築する作業に取り組み、2020 年 8 月の既存周波数 5G 化の制度整備から短期間で、実験試験局を用いたフィールド試験等、商用導入のための評価・検証を完了し、早期に実用化整備を開始するなど、電波の有効利用に大きく貢献した。

「全国新幹線路線における現行営業区間の電波遮へい対策完了」

公益社団法人移動通信基盤整備協会

代表 小林 宏 殿 (公益社団法人移動通信基盤整備協会 会長)

ソフトバンク株式会社

代表 関和 智弘 殿 (ソフトバンク株式会社 常務執行役員 兼 CNO テクノロジーユニット
副統括 (モバイル技術担当) 兼 モバイルネットワーク本部 本部長)

株式会社NTT ドコモ

代表 平本 義貴 殿 (株式会社NTT ドコモ 無線アクセスネットワーク部 部長)

KDDI 株式会社

代表 佐藤 達生 殿 (KDDI 株式会社 執行役員 技術企画本部 本部長)

新幹線トンネルにおいて携帯電話の通じない区間を 2020 年までに解消することを目指し、トンネル内及びトンネル付近の基地局への設備構築を進め、トンネル内を携帯電話事業者のサービスエリア化する作業を順次実施し、21 年間の歳月をかけて 2020 年 12 月 15 日までに 9 路線、557 トンネル、総長約 1100km の全国新幹線全トンネルの携帯電話サービスエリア化を完了し、電波の有効利用に大きく貢献した。

「聴覚に障がいのある方の生活を支援する『みえる電話』の提供」

ドコモ・テクノロジー株式会社

代表 佐藤 篤 殿 (エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 PS 本部 担当部長)

株式会社NTT ドコモ

代表 廣橋 道夫 殿 (株式会社NTT ドコモ サービスデザイン部 担当課長)

聴覚障がい者等の、声を聞き取りづらい利用者の電話連絡を支援するサービスとして、音声認識技術を利用して通話相手の音声をリアルタイムにテキスト変換し、スマートフォン画面に文字で表示する「みえる電話」のサービスを実用化し、一般のスマートフォンにアプリケーションをインストールするだけで利用可能な商用サービスを 2019 年 3 月に開始するなど、電波の有効利用に大きく貢献した。